



Apple Watch Series 3 スクリーンの交換

このガイドはApple Watch Series 3の、ひび割れたりダメージが入ったOLEDスクリーン(別名、ディスプレイアセンブリ)を交換する方法を説明したものです。

作成者: Tobias Isakeit



はじめに

このガイドを使って壊れたり、ひび割れたり、正常に機能しない**Apple Watch Series 3**のディスプレイを交換しましょう。

アップデートするApple Watchは**watchOS 5**かそれ以降のシステムであることを確認してください(ペアのiPhoneは**iOS 12**かそれ以降)。これはディスプレイを交換した後にペアリングの問題を回避するために行うものです。

ディスプレイを交換すると、**Apple Pay**に問題が出ます。可能であれば問題が起こる可能性を軽減するために、交換前にApple Payのアカウントをすべて消去し、新しいディスプレイに交換後、再度アカウントを作ってください。

このガイドでは標準モデルGPS搭載モデルの修理ガイドです。セルラー/LTEモデルの方法も類似しています。重要な作業の違いについてはテキスト中に明記しています。

ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [Curved Razor Blade](#) (1)
- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)
- [トライポイントY000 ドライバー](#) (1)

部品:

- [Apple Watch \(42 mm Series 2 3\) ディ스플레이コーナー用のステッカーセット](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm Series 2/3\) ディ스플레이コネクタのステッカーセット](#) (1)
- [Apple Watch \(42 mm Series 3 Cellular\) Screen](#) (1)
- [Apple Watch \(42 mm Series 3 GPS\) Screen](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm Series 3 Cellular\) Screen](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm Series 3 GPS\) Screen](#) (1)
- [Apple Watch \(42 mm Series 3 GPS\) Force Touch Sensor Adhesive Gasket](#) (1)
- [Apple Watch \(42 mm Series 2 & Series 3 Cellular\) Force Touch Sensor Adhesive Gasket](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm Series 2 & Series 3 Cellular\) Force Touch Sensor Adhesive Gasket](#) (1)
- [Apple Watch \(38 mm Series 3 GPS\) Force Touch Sensor Adhesive Gasket](#) (1)

手順 1 — Apple Watchの電源を切る



- 作業の前にApple Watchの電源を切り、充電器から取り外してください。
- ① タッチスクリーンが破損し、電源を切れない場合は、[ここに示されている方法](#)で電源を切ってください。

手順 2 — 熱を当てます



- [iOpenerを使って](#)、(もしくはヘアドライヤーかヒートガン)ディスプレイを温めます。触ると熱い程度まで温めてください。
- iOpenerを少なくとも1分は載せて、スクリーンを十分に温めて、ケースに沿って留められた接着剤を柔らかくします。

- iOpenerを再度温めるか、接着剤が冷却されないように、スクリーン周辺に動かしながら温め続けてください。

手順 3 — あらゆる危険性に備えます



- ⓘ スクリーンとWatch本体の間隙は非常に狭いため、鋭利なブレードを使ってこの二つを乖離させなければなりません。作業を始める前に、次の注意書きをよく読んでください。
 - ⚠ 作業中、ナイフから完全に指を離して指先を保護してください。不安な方は、ナイフを持っていない側の手をレザークロブやガーデニング用グローブを着用してください。
 - ⚠ 強いプレッシャーを本体に与えないようにご注意ください。ナイフがスリップしてしまい、怪我をしたりWatchにダメージを与えてしまうことになります。
 - ⚠ **保護メガネ**を着用してください。ナイフもしくはガラスが割れてしまうと、破片が飛び散ることがあります。
- ⓘ Watch用ハンドの有無によってコントロール加減が変わる場合は、作業がやりやすい様に着用する、もしくは外してください。

手順 4 — スクリーンをこじ開けます



- カーブしたブレードをディスプレイとアウターケースの間の隙間の中に当てます。デジタルクラウンに一番近いディスプレイの短いサイドから初めます。
 - 隙間に向けてまっすぐ、しっかりと押し込みます。
 - 差し込んだら、ブレードの角度を傾けてディスプレイをわずかに開く様にこじ開けます。
- ⚠** ナイフ先端を2 mm以上、挿入しないでください。

手順 5



- カーブした刃によって、小さな隙間ができたなら、ナイフから開口ツールに持ち替えて、細い先端を隙間に挿入します。
- 親指をコテにして、ディスプレイを少し持ち上げて開き、隙間に開口ツールを押し込みます。

 ディ스플레이を完全に開いたり、外したりしないでください。

手順 6



- 開口ピックをディスプレイの下に挿入し、Force Touchガスケットをディスプレイから慎重に取り外します。
- ⓘ 交換用Force Touchガスケットを含む、iFixitスクリーンとバッテリー用修理キットを販売しています。あなたのWatchに修理が必要でも大丈夫です。
- ⚠️ もしくは、Force Touchガスケットを保存して再利用する場合は、ディスプレイ端の下を慎重にこじ開けてください。ディスプレイを持ち上げた際に、Force Touchガスケットが切断したり、ガスケットのレイヤーから外れてしまった時は、Force Touchガスケット自体も交換しなければなりません。
- 開口ピックをディスプレイ周辺にスライドして、Force Touchガスケットとディスプレイ間に付けられた接着剤をはがします。
- ⚠️ 開口ピックを2 mm以上、差し込まないでください。

手順 7



⚠ ディスプレイケーブルを引っ張らないようにするには、ディスプレイを完全に開かないことです。

- ディスプレイを約45度の角度で開き、ピンセットを使ってディスプレイとForce Touchガasketの間の接着剤を慎重に剥がします。
- ディスプレイケーブル周辺と裏に貼られた接着剤を綺麗に剥がします。

手順 8 — バッテリー接続の外し方



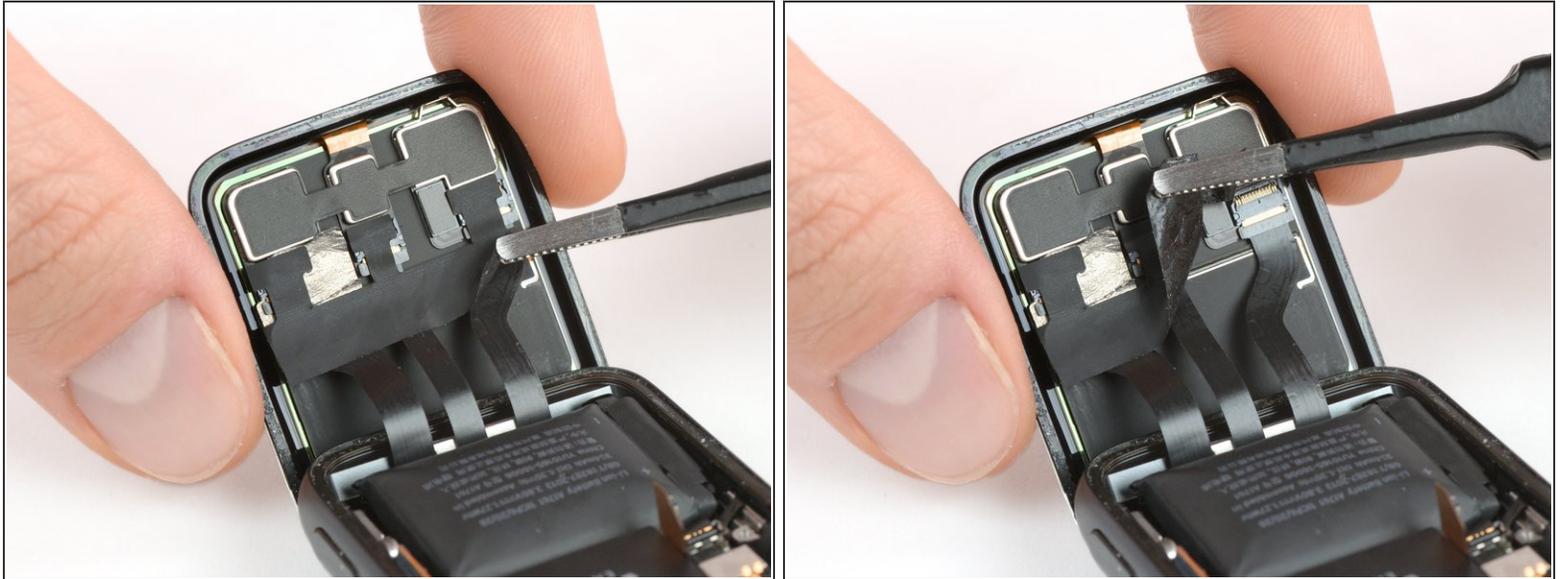
- Y000ドライバーを使用して、メタルカバープレートを固定しているトライポイントネジを外します。
- ピンセットを使って、カバープレートを取り出します。
 - まず、2つのフラップの蝶番を外すために、プレートを完全に開けます。
 - プレートを持ち上げて取り出せるには、半分に閉じます。

手順 9



- i** GPSのみのバージョンでは、バッテリーの接続をすぐに取り外せます。セルラー/LTEバージョンの場合は、バッテリーを取り外すためには、まず先に、Force Touchガスケットを外して、作業の邪魔にならないように折りたたんだ後に、バッテリーの接続を外せます。
- スパッツァーの鋭利な先端を使って、コネクタをまっすぐ持ち上げて、バッテリーを取り外します。
 - コネクタをわずかに曲げて、アクシデントで接触しないよう注意してください。

手順 10 — スクリーン



- ピンセットを使って、ディスプレイケーブルコネクタを覆っているテープを剥がします。
 - テープ下側の右から作業を始め、ゆっくりと中央のコネクタ側に向けて、慎重に作業を進めてください。
- i** テープの接着力が強力なことがあります。テープを強く引っ張ったり、ケーブルを破損させないように注意してください。必要に応じて、テープを温めたり、イソプロピルアルコールを使って接着剤を溶かしてください。

手順 15



- ディスプレイを取り出します。
- ✦ Force Touchガasketとその周辺に付ける接着剤を交換するための詳細な再組み立てのインストラクションは、ガイド終わりのリンク先ガイドを参照してください。

修理完了後、Watchを密封するには、[Force Touchセンサーの手順 Sensor guide](#)が入っている手順10から作業を続けてください。一番最善な方法は、手順16終わりまで新ディスプレイを接続しないことです。